



# eメールモバイルマウス取扱説明書

## Opt emobile



最初に ご確認ください。	マウス本体 .....	1台
	ドライバディスク(8cmCD) .....	1枚
	取扱説明書 .....	1部

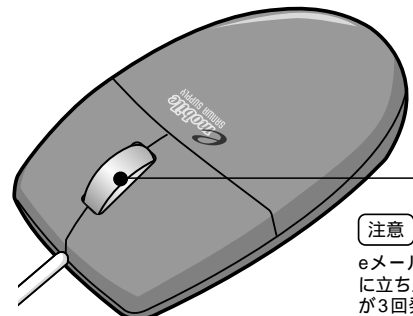
本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## はじめに

このたびは、eメールモバイルマウスをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、ボールを使わない光学式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。また、eメールソフトを立上げることなく、eメールの着信を光と音でお知らせします。本製品は、マウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。またMicrosoft IntelliMouse機能に対応していますので、MS Office 97のようにIntelliMouse機能を持っているアプリケーションであれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、データズームなど)が行えます。本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしてください。



ホイールボタン  
(スクロールボタン)

注意

eメールモバイルマウスをパソコンに立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光しますのでその間はマウスを動かさないでください。

## 目次

1	目次
2	はじめに FCC警告 対応機種
3	接続する前に必ずお読み下さい。
4	マウスの接続 ハードウェアのインストール
5	Mouse Suite2002(マウススイート)のインストール
7	マウスの使用方法
8	スクロールボタンの使用方法 Mouse Suite2002のコントロールパネル
9	ボタン
11	ダブルクリック
12	方向 Eメールファンクション
13	ユーザーアカウント フィルタアドレス
14	ホイール
15	ポインタユーティリティ
16	Mouse Suite2002

## FCC警告

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせでお試してください。テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。テレビ/ラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。テレビまたはラジオをととは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

## 対応機種

本製品には、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のもをご使用ください。各社DOS/Vパソコン(CPUはペンティアム以上でCDドライブが使用可能な機種) USBポートを持つ機種 対応OS: Windows XP、Me、Windows98SE/98及びWindows2000に対応

## 接続する前に必ずお読みください。

### 本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindows Me/98等において自動認識され使用可能となります。もし、本製品が正常に動作しない場合、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコント

ローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

### 内蔵ポインティングデバイスの切り直し

本製品添付のドライバは各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス(タッチパッド等)用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを削除するか、添付ドライバをインストールしないでお使いください。各ユーティリティによって削除方法が異なります。以下をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合  
デバイスマネージャ マウスで「NXPAD」あるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。  
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。  
東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。  
IBM ThinkPadシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。  
Compaq Armadaシリーズの場合  
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。  
途中「このデバイスの適していない・・・」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

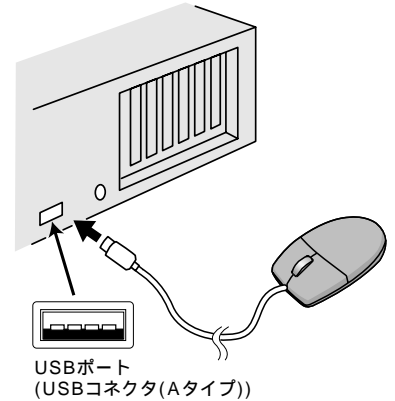
以上で前準備は終わりです。ドライバのセットアップを開始してください。

上記について、ご不明な際はPCメーカーに確認するか、弊社のホームページ(<http://www.sanwa.co.jp/>)のFAQをご覧ください。

3

## マウスの接続

本製品はUSBインターフェイスに対応したマウスですので、接続は次のように行います。



詳細な設定については、後ほど説明します。接続の際、コネクタには上下がありますのでご注意ください。

マウスをパソコンに接続した際、またはパソコンを立ち上げた際、マウス裏面のLEDが3回発光しますので、その間はマウスを動かさないでください。

## ハードウェアのインストール

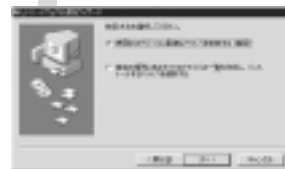
Windows Me等では、システム標準でUSBをサポートしデバイスドライブも組み込まれていますので、添付のドライバソフト(8cmCD)を使用してeメール機能等を追加します。

コンピュータの電源を入れ、Windows Me等を完全に起動させます。本製品を、コンピュータのUSBポートに接続します。自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス  
----- 次へ



検索方法を選択してください。  
• 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ

4

## ハードウェアのインストール (続き)



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。チェックボックス( )にチェックマーク(✓)を入れずに ----- 次へ  
もし検索場所を聞いてきたら  
✓ 検索場所の設定(L)

C:\WINDOWS\INF

もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS

もし、上記の検索場所ドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。  
USBヒューマンインターフェイスデバイス  
----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス  
----- 完了

Windows XP、2000では、上記インストール方法と画面が多少異なります。

## Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール

- 重 要**：マウスを接続し、カーソルが正常に動くことを確認してから、ドライバソフトをインストールしてください。インストール前に他のアプリケーション等を外しておいてください。
- アドバイス**：ソフトウェアをインストールしなくても、マウスの基本的なスクロールは使えます。もし、eメール機能などMouse Suite 2002の特別な機能を使いたい場合は、ソフトウェアのインストールが必要になります。

Windowsを完全に起動させ、Mouse Suite2002をCD-ROMドライブに入れてください。  
Mouse Suiteセットアッププログラムが自動的に立ち上がります。もし自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」「ファイル名を指定して実行」「D:\Setup.exe」(DがCD-ROMドライブの場合)でセットアッププログラムを立ち上げてください。  
あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

### Mouse Suite2002



ようこそ  
Mouse Suite2002セットプログラムへようこそ。  
このプログラムはMouse Suite2002をシステムにインストールします。  
----- 次へ(N)

5

## Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール (続き)



接続したインターフェイスの選択  
PS/2(P)  
シリアル(RS-232C)(S)  
• USB(Universal Serial Bus)(U)  
「USB」を選択して ----- 次へ(N)



マウスの場所を選択  
• キーボード右側(右利きユーザー)(R)  
キーボード左側(左利きユーザー)(L)  
----- 次へ(N)



インストールの開始  
インストールの準備ができました  
----- 次へ(N)

この段階でエラーメッセージが出ることがあります。  
下記を参考にしてください。



ドライバソフトのインストール後eメールソフトの設定画面が表示されます。  
POP3の設定については登録されていますプロバイダにお聞きください。

POP3サーバー:ご使用のプロバイダーのPOP3サーバー名を入力します。  
ユーザー名:POP3のアカウント名を入力します。  
パスワード:登録されているパスワードを入力します。  
確認:確認のため再度パスワードを入力します。



セットアップ完了  
セットアップがMouse Suiteをインストールしました ----- 完了(E)

セットアップ中に下記のようなダイアログが表示されることがあります。  
「OK」をクリックしてください。



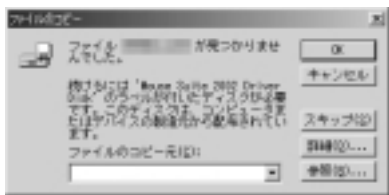
この場合「ファイルのコピー元」にインストールディスクのドライブ名を指定してください。

6

## Mouse Suite(マウススイート)2002のインストール (続き)

CDの場合は環境によって違います。  
ドライバCDがDドライブの場合を例にあげています。  
Dドライブ以外にCDが挿入されている場合は先頭の文字をそのドライブ名の先頭の文字に置き換えてください。

- < Windows Me/98の場合 > d:¥w98
- < Windows XP/2000の場合 > d:¥w2k
- < Windows NT4.0の場合 > d:¥nt4
- < Windows XPの場合 > d:¥xp

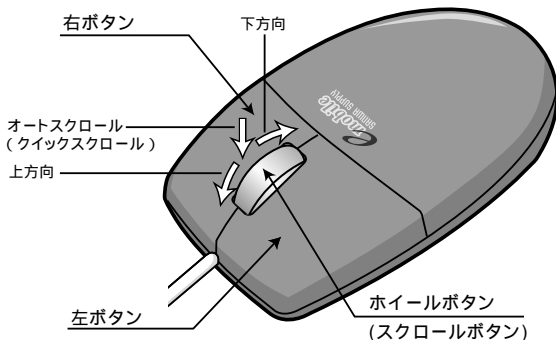


Windows XP、Me、2000の場合、インストール作業中に警告メッセージ(「デジタル署名が見つかりませんでした」)が出る場合がありますが、インストール作業を継続していただいて問題ありません。

## マウスの使用方法

### 各部の名称

本製品にはホイールコントロール機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。(スクロール、オートスクロール)



### 左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また、右ボタンはWindows 98/95でのアプリケーションごとに設定されているマウスの働きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中の「ボタン」で、お好みに合わせて変更可能です。

## スクロールボタンの使用方法

### スクロール

スクロールとはウィンドウ内を上下、左右へと移動させることをいい、通常水平スクロールバーと、垂直スクロールバーをクリックすることでスクロールが可能になります。本製品ではホイールを回転させることでスクロールができます。カーソルをスクロールバー内の位置に持っていき、ホイールを回転させてください。ホイールをモニタ方向に回転させると、上方向にスクロールされます。手前方向に回転させると、下方向にスクロールされます。


### クイックスクロール

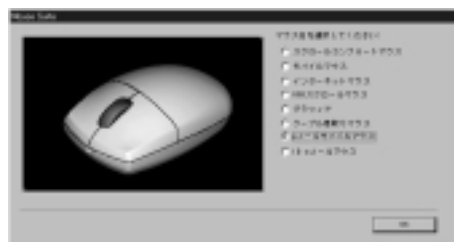
ホイールボタンを押したまま、マウスをずらすとその方向にスクロールできます。

### オートスクロール

これは、初めに少しスクロールするだけで、後は自動的にスクロールを続けてくれるという機能です。例えば、ホイールボタンを一度押し、マウスを手前に動かして少しスクロールするとそのままずっとスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

## Mouse Suite 2002のコントロールパネル

Mouse Suite 2002をインストール後、Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックすると、Mouse Suite 2002の初期画面が表示されますので、ID eメールマウスを選択してください。




接続されたマウスで、ID eメールマウスを必ず選択してください。間違えたマウスを選択すると、マウスコントロールパネルの絵が実際と異なり、再インストールが必要となります。

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルにより色々な機能が使用できるようになります。

## Mouse Suite 2002のコントロールパネル (続き)



マウスコントロールパネルを立上げる場合、下記に従ってください。

Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコン  をダブルクリックしてください。  
または、  
Windowsのスタートボタンを左クリックし、設定 (S) 中のコントロールパネル (C) を選択してください。コントロールパネルの中のマウスアイコンを選択してください。

## ボタン

Mouse Suite 2002は、マウスプロパティで使用したいタブをクリックすると、色々な機能を使う事ができます。

「ボタン」の設定  
ボタンページを開くとマウスボタンの機能のカスタマイズができます。初期設定は以下で説明しています。



左ボタン：第一マウスボタン  
右ボタン：コンテキストメニュー  
ホイールボタン：クイック/オートスクロール

## ボタン (続き)

マウスの設定を変えたい場合、下記に従ってください。

ボタンの設定を変えたい場合、マウスイメージの中にあるボタンをクリックしてください。または、「ボタン(B)」リストの中からボタンを選択してください。選択したボタンがボタンリストとマウスアイコンの中に出ます。そして、「機能(F)」リストからボタンの機能を選んでください。(最低一つのボタンをメインマウスボタン(第一マウスボタン)の設定にしてください。)  
マウスボタンの機能を初期設定に戻したい場合、「デフォルト値を使用(D)」をクリックしてください。

ボタンの設定を確定する場合、「適用(A)」をクリックして下さい。

### 拡大鏡

マウスボタンを拡大機能として選択すると、クリックするだけでカーソルの周辺が拡大されます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。そして、拡大機能を可能にするため、ファンクションリストの中から「拡大鏡」を選択してください。「設定(S)」の機能で拡大のサイズを調節することができます。最後に「適用(A)」をクリックしてください。拡大機能がマウスのクリックで実行可能になります。

### ハイパーリンク

マウスボタンをハイパーリンクとして選択すると、クリックするだけでアプリケーションまたはドキュメントを簡単に開くことができます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。ファンクションリストに入っていないドキュメントまたはアプリケーションを選択したい場合、ファンクションリストの中から「ハイパーリンク」を選択してください。次に、「設定(S)」をクリックしてください。「参照(B)」をクリックし、適切な登録したいアプリケーションを選んでください。選択した機能を確定する際は、「OK」をクリックして最後に「適用(A)」をクリックしてください。ハイパーリンク機能がマウスのクリックで実行可能になります。

### ハイパーグリッド



ハイパーグリッドには9つのWindows機能があります。この9つの機能は1つの画面上で選択できるので1クリックで簡単に使用できます。

上記の手順と同じように、マウスボタンをハイパーグリッド機能として選択してください。ハイパーグリッドの使用の際は、ハイパーグリッド機能を割り当てたマウスボタンを押しっぱなしにしておくとグリッドが現れますので、ボタンを押しのまま選択したいアイコンまでカーソルを移動させボタンを放してください。

## ボタン (続き)

### その他の機能

ボタン割り付け機能の一覧	次のウインドウ
後退	ページを下へ
ウインドウを閉じる	ページを上へ
コントロールパネル	貼り付け (Ctrl+V)
コピー (Ctrl+C)	第一マウスボタン
コンテキストメニュー	プリンタ
切り取り (Ctrl+X)	クイック/オートスクロール
ダブルクリック	ゴミ箱
ドラッグロック	Ctrl+A
Enter	ウインドウズを元のサイズに戻す
Esc	スタートボタン
Shift	インターネット
Ctrl	元に戻す (Ctrl+Z)
F1 ~ F12	エクスプローラー
ウインドウズの最大化	ハイパーリンク
マウスの中央ボタン	拡大鏡
ウインドウズの最小化	
マイコンピュータ	
ハイパーグリッド	

## ダブルクリック

ダブルクリックの機能で、アプリケーション上でのダブルクリックに対する反応の速さを調節することができます。



ダブルクリックのスピードを調節する場合、ダブルクリックの速度(D)内のスライダーをクリックアンドドラッグで左右に移動させてください。左側に移動させると速度は遅くなり、右側に移動させると速くなります。マウス操作に慣れていない方は、バーを左側に移動させると、ダブルクリックの速度は遅くなるので、使い易くなります。

「デフォルト値に戻す(R)」をダブルクリックするとスピードの設定をリセットすることができます。

ダブルクリックのスピードを試したい場合は、テストエリアにあるアイコンをダブルクリックしてください。確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

## 方向

この機能で、一番使い易いマウスのポジションを設定することができます。



「方向の設定(S)」をクリックするとマウスの位置の設定画面が出てくるので、これに従ってください。

位置の設定を初期設定に戻す場合は「方向の設定をリセット(R)」をクリックしてください。

## Eメールファンクション

### 受信メールのチェック方法(I)



メールサーバーは、POP3またはMAPI(ExchangeサーバークライアントとしてOutlook 2000を使用している場合のみ)に対応しています。MAPIを選択した場合、Outlook 2000の設定を自動的に参照します。OutlookにMAPIの設定がない場合、この機能は選択できません。

### 光インディケータ(L)



- 光インディケータをオフにする(⌵)  
ホイールを光らせたくない場合は、にチェックマーク(✓)を入れます。メールをお知らせするインディケータのスピードを調整します。メールの重要度によって点滅速度の設定が可能です。

### 受信メール通知設定(E)



- 毎  分 ...  
受信メールをチェックする間隔を設定します。
- ミュージックで新着メールのお知らせ(W)  
受信を確認すると音や音楽で通知してくれます。通知してもらおうようにするためには、「ミュージックで新着...」にチェックマーク(✓)を入れ、「参照(B)」ボタンをクリックして、お好みのwavファイルなどを選択してください。

例えば、Windowsに標準で入っている「Chimes wav」を鳴らす場合

Windows Me/98では、C:\WINDOWS\MEDIA\CHIMES.WAV  
Windows 2000では、C:\WINNT\Media\Chimes.wav  
と入力します。

## ユーザーアカウント

### ユーザーアカウント

POP3サーバの新規登録や登録サーバの修正、削除が可能です。  
新規登録する際は「新規( D )」ボタンをクリックしPOP3サーバ、ユーザー名などの登録を行ってください。  
修正する際は登録済みのサーバ名をクリックし、「修正( M )」ボタンをクリックします。



## ホイール

ホイールの設定で、スクロールとホイールのボタンの設定ができます。  
Mouse Suite 2000は、Microsoft Intellimouseと互換性があります。  
Intellimouseのエミュレーションを選択すると、ホイールのスクロール機能はMicrosoft Office 97と互換性のあるアプリケーションのみ使用できるようになります。



Microsoft Intellimouseのエミュレーションを使用したい場合は、「Microsoft Office 97 スクロールエミュレーションのみを使用(M)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

## フィルタアドレス

特定アドレスのメールのみ着信をお知らせします。  
にチェックボタン( ✓)を入れ「新規( D )」ボタンをクリックして登録します。  
修正する際は、登録済みのEメールアドレスをクリックし「修正( M )」ボタンをクリックします。



Mouse Suite 2000には「ユニバーサルスクロール機能」があり、ほとんどのアプリケーションのスクロールバーに使用できます。  
(例：WordPerfect 97, Netscape Navigator 3.0, Microsoft Office 95)  
しかし、ユニバーサルスクロール機能を選択している場合、マウスはIntellimouseの拡大・縮小機能が使えなくなります。この機能を使いたい場合は、「例外(X)」ボタンを選択し、アプリケーションを指定してください。

「ユニバーサルスクロール機能」を使用可能にする場合は、ホイールの中にある「ユニバーサルスクロールを使用(E)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

拡大・縮小機能を使用可能にしたいアプリケーションを指定するために、ホイールにある「例外(X)」ボタンを選択してください。次に「追加(A)」ボタンをクリックしてください。そして、指定したいアプリケーション名をプログラムバスに入力してください。「参照(B)」ボタンで追加するアプリケーションを選択することができます。確認は「OK」をクリックしてください。指定したアプリケーションを削除したい場合、「削除(R)」をクリックし「OK」で確定してください。

## ホイール (続き)

### ホイールボタン (B)

「ホイールボタン(B)」でマウスのホイールボタン機能の変更ができます。

「クイック/オートスクロールコントロール(Q)」を選択すると、クイックスクロール/オートスクロール機能が使えます。

スクロール/オートスクロール以外の機能をホイールボタンに割り付けたい場合は、「ボタン機能(U)」をクリックしボタンファンクションリストが表示されます。このリストの中から機能を選択し、「適用(A)」をクリックして確認してください。

### スクロール速度 (C)

「スクロール速度(C)」でホイールボタンのスクロールスピードの調節ができます。

「スクロール(Q)  ライン/ノッチ」を選択し、1行から20行までのスクロールの幅の調節ができます。矢印でスクロールの幅の調節を行ってください。

「1ノッチにつき1画面をスクロール(N)」を選択すると、スクロールは1画面ごとにスクロールされます。

スクロールの方向を逆にした場合、「スクロール方向を逆転(V)」にチェックを入れてください。

ホイールの設定を確認する場合「適用(A)」をクリックしてください。

## ポインタユーティリティ

ポインタユーティリティを開くと、ポインタラップ、X焦点、ソナー、スローモーション、ポインタを隠すの機能を設定することができます。

OSにより、下記画面は多少異なります。



ポインタユーティリティの機能を使用可能にするために、どれかにチェックを入れ「適用(A)」をクリックしてください。

### ポインタラップ (W)

「ポインタラップ(W)」を使用可能にすると、ポインタを画面のはしに移動したとき自動的にカーソルが画面の反対側に現れます。

### X焦点 (X)

タイトルバーにカーソルを移動するとウィンドウを開くことができます。ウィンドウを切り替えるとき、クリック無しで行えるので大変便利です。

## ポインタユーティリティ (続き)

### ソナー (O)

「ソナー(O)」の機能で簡単にカーソルの位置が確認できます。Ctrlキーを押すと、ソナー機能が使用可能になります。この機能は他のCtrlキーの機能を干渉しません。

### スローモーション (S)

Shiftキーを押せばなしにすると、カーソルを一時的にゆっくり移動させることができます。この機能は他のShiftキーの機能と干渉しません。

### ポインタを隠す (V)

「ポインタを隠す(V)」を使用可能にすると、タイピング時カーソルが消えます。マウスを移動させると自動的に画面にカーソルが現れます。

## Mouse Suite 2002

Mouse Suite 2002 のページは、色々なオンライン製品サポートのリンクまたはアンインストールとタスクバーマウスアイコン機能があります。



### オンライン製品サポート

お問い合わせは弊社Webサイトより「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」のリンクをたどり、問い合わせフォームに必要事項を記入して送信してください。

Mouse Suite のアップデートドライバをダウンロードする場合、弊社Webサイトに行き、ダウンロードできます。



## Mouse Suite 2002

---

### アンインストールユーティリティ (U)

---

Mouse Suite 2002をアンインストールする場合、「アンインストール(U)」ボタンをクリックし、画面に出てくる指示に従ってください。

### マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)

---

Mouse Suite 2002のアイコンをWindowsタスクバーに追加したい場合、「マウスアイコンをタスクバー上に表示(S)」にチェックマークし、「適用(A)」をクリックしてください。

### テクニカルサポート

---

Mouse Suite 2002インストールが上手くできない場合、テクニカルサポートスタッフまでご連絡ください。問題解決に万全を尽くします。

ホームページ： <http://www.sanwa.co.jp/>

Mouse Suite 2002のマウスコントロールパネルに入っています。

お問い合わせは弊社Webサイトからが便利です。  
「サポート」「お問い合わせについて」「商品に関するお問い合わせ」よりサポートフォームに入力してください。

